



2019年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年2月14日

上場会社名 株式会社オークファン 上場取引所 東
 コード番号 3674 URL https://aucfan.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武永 修一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部長 (氏名) 山田 圭祐 TEL 03(6809)0951
 四半期報告書提出予定日 2019年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第1四半期の連結業績（2018年10月1日～2018年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第1四半期	1,654	70.0	274	—	270	—	175	—
2018年9月期第1四半期	973	5.8	△20	—	△16	—	△56	—

(注) 包括利益 2019年9月期第1四半期 239百万円 (—%) 2018年9月期第1四半期 △68百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第1四半期	17.92	16.90
2018年9月期第1四半期	△5.69	—

(注) 2018年9月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、潜在株式は存在するものの1株当たり純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年9月期第1四半期	5,706	2,876	50.2
2018年9月期	5,873	2,717	46.0

(参考) 自己資本 2019年9月期第1四半期 2,862百万円 2018年9月期 2,704百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年9月期	—	—	—	—	—
2019年9月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年9月期の連結業績予想（2018年10月1日～2019年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,400	26.2	600	46.0	600	41.7	350	56.3	35.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 一、 除外 一社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2019年9月期1Q	9,915,000株	2018年9月期	9,915,000株
② 期末自己株式数	2019年9月期1Q	142,331株	2018年9月期	53,200株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2019年9月期1Q	9,785,023株	2018年9月期1Q	9,854,300株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、四半期決算短信開示後速やかにTDnet及び当社ホームページに掲載いたします。

(日付の表示変更について)

当第1四半期会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「あらゆる人が、あらゆる場所で、あらゆるモノを売り買いできる新たな時代を創る」というミッションを掲げ、「グローバルな循環型消費社会の先駆者であり続ける」というビジョンのもとに、ネットオークション・ショッピングの比較検索サイト「オークファン」をはじめとした情報提供(インターネットメディア)事業、卸企業様・メーカー様等を対象としたマーケットプレイス運営事業、インターネット上での販売活動支援等を行うソリューション事業及び、事業投資活動等を行うインキュベーション事業を展開しております。

当社グループは、消費者に届けられることなく廃棄される約22兆円の法人在庫(※)に着目し、創業来蓄積した大量の商品実売データを基に、これらの在庫を「適切な価格で」「適切なマーケットに」お届けする支援を行って参りました。特に、2017年12月からはBtoC向けお買い得品EC事業の株式会社ネットプライスを子会社化したことにより、相場データのみならず自ら積極的に流通に関与するマーケットプレイス事業への本格展開も果たしました。

このような中、当連結会計年度においても22兆円の巨大市場の攻略に向け、事業推進を行ってまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,654,283千円(前年同四半期比70.0%増)、営業利益は274,264千円(前年同四半期は営業損失20,497千円)、経常利益は270,024千円(前年同四半期は経常損失16,017千円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は175,328千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失56,100千円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

(メディア)

当セグメントは、創業来のデータの収集・解析基盤及び、これらのデータを活用したインターネットメディア(aucfan.com)の運営を主とした当社グループの基盤の一つとなるセグメントであります。

当社が保有する流通相場データを活用した「オークファンプロPlus」や、オークション教育・個別サポートサービス「オークファンスクール」など周辺サービスが業績を牽引し、売上高580,154千円、営業利益70,206千円となりました。

(マーケットプレイス)

当セグメントは、22兆円の巨大市場の攻略への足がかりとして最も重要なセグメントであると位置づけております。

法人向け商品流動化支援事業「リバリュー」、国内最大級のBtoB仕入れサイト「NETSEA」及びBtoC向けECサイト「ネットプライス」それぞれにおいて積極的な投資・成長に向けた施策の実行を行い、売上高852,115千円、営業利益36,760千円となりました。

(ソリューション)

当セグメントは、データとマーケットプレイス(販路)を繋ぐ戦略的事業投資を含む、当社グループにとって重要なセグメントであり、継続的に事業投資を実施しております。

このような投資フェーズの中、複数のEマーケットプレイスへの同時出品・在庫連動等が可能なASPサービス『タテンポガイドNEXT』の安定的な黒字化に向けた販売促進及び費用の見直しを継続するとともに、株式会社ゼロディブの収益性の見直し等を積極的に実施し、売上高86,696千円、営業利益648千円となりました。

(インキュベーション)

当セグメントは、事業投資活動を通じて、当社が中長期に亘り競合優位性を構築・維持していくための知見とネットワークを得ることを目的とした事業セグメントであります。

営業投資有価証券の売却及び、投資先企業へのコンサルティング等を実施した結果、売上高193,362千円、営業利益163,626千円となりました。

※ 出所：平成28年度法人企業統計(財務省)などを基に当社試算

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況とそれらの要因は次のとおりです。

①資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、5,706,096千円(前連結会計年度末は5,873,838千円)となりました。

流動資産は、3,954,982千円(前連結会計年度末は4,049,504千円)となりました。主な要因といたしましては、営業投資有価証券が112,630千円増加、現金及び預金が126,175千円減少、受取手形及び売掛金が49,110千円減少した結果であります。

固定資産は、1,749,251千円(前連結会計年度末は1,822,160千円)となりました。主な要因といたしましては、ソフトウェア仮勘定が45,493千円増加、繰延税金資産が48,238千円減少、のれんが38,146千円減少、ソフトウェアが26,083千円減少した結果であります。

繰延資産は、1,862千円(前連結会計年度末は2,173千円)となりました。要因といたしましては、社債発行費が310千円減少した結果であります。

②負債

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、2,829,896千円(前連結会計年度末は3,156,679千円)となりました。

流動負債は、1,805,004千円(前連結会計年度末1,965,168千円)となりました。主な要因といたしましては、未払金が73,029千円減少、1年内返済予定の長期借入金が17,131千円減少した結果であります。

固定負債は、1,024,891千円(前連結会計年度末は1,191,511千円)となりました。主な要因といたしましては、社債が62,500千円減少、長期借入金が103,495千円減少した結果であります。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、2,876,200千円(前連結会計年度末は2,717,158千円)となりました。主な要因といたしましては、利益剰余金が175,328千円増加した結果であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の連結業績予想については、2018年11月14日に公表した業績予想に変更はございません。なお、業績見直しに変更が生じる場合には速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,094,725	1,968,550
受取手形及び売掛金	594,049	544,938
営業投資有価証券	897,224	1,009,855
商品	173,248	174,101
仕掛品	60,050	68,076
貯蔵品	2,599	1,760
未収入金	148,881	144,826
その他	114,015	77,836
貸倒引当金	△35,289	△34,963
流動資産合計	4,049,504	3,954,982
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	68,800	66,691
工具、器具及び備品(純額)	48,540	47,415
その他(純額)	3,700	3,313
有形固定資産合計	121,041	117,420
無形固定資産		
のれん	601,526	563,379
ソフトウェア	406,790	380,707
ソフトウェア仮勘定	129,134	174,627
その他	1,682	1,622
無形固定資産合計	1,139,133	1,120,337
投資その他の資産		
繰延税金資産	373,650	325,412
その他	188,334	186,081
投資その他の資産	561,984	511,493
固定資産合計	1,822,160	1,749,251
繰延資産		
社債発行費	2,173	1,862
繰延資産合計	2,173	1,862
資産合計	5,873,838	5,706,096

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	277,172	256,316
短期借入金	300,000	300,000
1年内償還予定の社債	125,000	125,000
1年内返済予定の長期借入金	499,677	482,546
未払法人税等	74,563	79,007
未払金	353,122	280,093
ポイント引当金	5,689	5,669
その他	329,942	276,371
流動負債合計	1,965,168	1,805,004
固定負債		
社債	125,000	62,500
長期借入金	1,063,099	959,604
その他	3,412	2,787
固定負債合計	1,191,511	1,024,891
負債合計	3,156,679	2,829,896
純資産の部		
株主資本		
資本金	679,591	679,591
資本剰余金	650,361	650,361
利益剰余金	1,400,720	1,576,049
自己株式	△43,251	△123,244
株主資本合計	2,687,422	2,782,758
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,855	79,251
その他の包括利益累計額合計	16,855	79,251
新株予約権	8,500	8,500
非支配株主持分	4,380	5,690
純資産合計	2,717,158	2,876,200
負債純資産合計	5,873,838	5,706,096

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)
売上高	973,048	1,654,283
売上原価	488,734	829,690
売上総利益	484,314	824,592
販売費及び一般管理費	504,812	550,328
営業利益又は営業損失(△)	△20,497	274,264
営業外収益		
受取利息	221	0
為替差益	70	—
助成金収入	—	570
その他	7,860	1,354
営業外収益合計	8,152	1,925
営業外費用		
支払利息	1,617	3,147
その他	2,054	3,017
営業外費用合計	3,672	6,165
経常利益又は経常損失(△)	△16,017	270,024
特別損失		
固定資産除却損	1,788	—
特別損失合計	1,788	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△17,806	270,024
法人税、住民税及び事業税	13,514	72,684
法人税等調整額	31,305	20,701
法人税等合計	44,819	93,385
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△62,625	176,639
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△56,100	175,328
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,524	1,310
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,391	62,396
その他の包括利益合計	△5,391	62,396
四半期包括利益	△68,017	239,035
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△61,492	237,724
非支配株主に係る四半期包括利益	△6,524	1,310

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2018年9月28日開催の取締役会決議に基づき、自己株式89,100株(取得価額79,964千円)の取得を行いました。単元未満株式の買取りとあわせて、当第1四半期連結累計期間において自己株式が79,993千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が123,244千円となっております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2017年10月1日至2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2
	メディア	マーケット プレイス	ソリューシ ョン	インキュベ ーション	計		
売上高							
外部顧客への売上高	451,162	394,664	77,342	49,879	973,048	—	973,048
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18,150	101	7,955	—	26,207	△26,207	—
計	469,312	394,765	85,298	49,879	999,255	△26,207	973,048
セグメント利益又は損 失(△)	16,266	17,982	△83,086	24,846	△23,990	3,492	△20,497

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去3,492千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2018年10月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2
	メディア	マーケット プレイス	ソリューシ ョン	インキュベ ーション	計		
売上高							
外部顧客への売上高	531,281	849,437	80,201	193,362	1,654,283	—	1,654,283
セグメント間の内部 売上高又は振替高	48,873	2,677	6,495	—	58,046	△58,046	—
計	580,154	852,115	86,696	193,362	1,712,329	△58,046	1,654,283
セグメント利益	70,206	36,760	648	163,626	271,240	3,024	274,264

(注)1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去3,024千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。